

武道を活かしたまちづくり

津山新星会議 近藤吉一郎



法も担当部署の行革の取り組みに加えて、行革推進組織として切り込んでいくことが必要であり、職員の意識改革の取り組みや庁内の行革推進体制の強化も図っていく。

質問 弓道場整備に関する武道推進構想懇談会の意見に対する考えは。

答弁 武道を活かしたまちづくりを掲げている津山市としては、前進させるべきではないかと思っている。

質問 中学校の武道必修化の取り組みは。

答弁 体育館を中心に授業を行う。状況に応じて授業に差し支えが生じないよう必要な措置を講じる。柔道着、竹刀等は学校で揃えたいと思う。

農業林業活性化と契約監理について

みどりの会 西野修平



2吸収増加が貨幣価値を生み、整備の推進が図れる制度が始まった。また搬出された物はバイオマス資源として活用すればより推進できる。

質問 洋学資料館建設で、元請業者が倒産に至り、民事再生が適用された。この事件により津山市内の下請けや材料業者が被害を受けた。津山市の今後の対応はどうするか。

答弁 下請業者等の救済には相手方との交渉も含め、緊急保証制度や中小企業融資制度などについて相談を受ける。今後、常に最新の情報を収集し、業者選定に活かしていくことに一層の努力をしていきたい。

質問 里山の整備は人と動植物の共生の場を確保し農地を守るため、農村再生の最重要課題であると思われるが。

答弁 里山の整備によって得られるCO

クリーンセンター建設事業と合併処理浄化槽整備

建政会 北本周作



ストーカ・セメント原料化方式であり、埋め立て物は資源化や熱回収できない最小限の陶器やガラス片などになる。年間の埋め立て量が減少し最終処分場の使用期間が長期化する大きなメリットがある。

質問 合併処理浄化槽整備促進のため補助金の上乗せが必要では。

答弁 必要性は認識している。下水道計画区域を見直し中のため、公共下水道と合併浄化槽のそれぞれの特徴を考慮し経済的、効率的な汚水処理施設の整備を図りたい。

質問 主灰、飛灰資源化による経済面について。

答弁 灰をセメント原料として活用する

地域活性化対策予算平等に配分すべきでは

新風会 松本義隆



地域活性化対策につながる施策については、むしろ積極的に予算配分すべきでは。

答弁 地域の祭りは行政の下請けでない。応援金として支援している。

質問 差別的な予算配分はしないでほしい。

答弁 他とのバランス、経費の中の補助金割合等一定の原則を持つ必要がある。

質問 日本原高校跡地利用は、隣が自衛隊の土地なので自衛隊に使用してもらっては。

答弁 県から「とりあえずもらっとけ」ということにすると維持管理ばかりかかる。自衛隊誘致の話は聞いているが、まだそのような状況下でない。

質問 久米、勝北地区の運動会の予算がゼロになり、また勝北の水中心花火は昨年比30%削減され、開催が危ぶまれている。何もかも廃止や縮小でなく、